

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 22-44
補助事業名 平成22年度 機械工業の経営及び関連する経済に関する調査等補助事業
補助事業者名 一般財団法人 機械振興協会（経済研究所）

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

わが国機械情報産業は、人口減少社会、グローバル化、モノづくり人材、中小企業の活性化、環境問題等、様々な問題に直面している。そこで、本年度は、我が国機械情報産業の構造革新を推進するため「産業構造の大変革期に対応した日本のモノづくりの発展戦略」に焦点を当て、事業に取り組んだ。

(2) 実施内容

- ①機械情報産業における地域経済及び産業集積の活性化に関する調査研究
[「産業セクター融合による新産業創出と地域経済の活性化」](#)
[「将来のモノづくり人材の育成・獲得に向けた地域及び企業の取り組み」](#)
- ②機械情報産業における日本企業の多様なグローバル展開等に関する調査研究
[「新興国の低価格自動車市場における日本企業の競争力強化」](#)
[「日韓機械関連統計における産業/品目バーチャル・ブリッジ分類の構築に係る調査研究」](#)
[「海外産業技術者の受入れ研修事業」](#)
[「携帯電話の高機能化と高度利用による国際競争力強化策」](#)
[「中国機械産業の発展と欧州等の中国に対する安全保障貿易管理の実態」](#)
[「機械産業の国際競争力強化と外形標準化税のあり方に関する調査研究」](#)
- ③機械情報産業の基盤技術強化に向けた R&D 及び人材育成等に関する調査研究
[「電子部品及び機械部品の調達システムと取引関係の変化」](#)
[「新興国及び先進国における次世代自動車\(含二輪\)の供給基盤の比較分析」](#)
[「エンジニアリング産業海外拠点人材育成に関する調査研究」](#)
[「ものづくり分野における日本の競争力強化技術開発調査」](#)
- ④機械情報産業の環境・資源・エネルギー等の低炭素社会対応に関する調査研究
[「エコデバイス関連産業グローバル展開の展望とわが国産官学の課題」](#)
[「世界規模で拡大する風力発電市場と日本企業の競争優位性」](#)
[「風力発電関連機器産業に関する調査研究」](#)

「京都議定書後の我が国 CO2 削減プラント産業技術の途上国移転に係る調査研究」

⑤機械情報産業に係る中小企業及びベンチャー企業の競争力強化に関する調査研究

「経済構造の変化に対応したグローバル・モノづくりベンチャーの創出」

「航空機及び同部品産業の市場及び技術の動向と中堅・中小企業の参入促進策」

⑥成果の普及事業等

各プロジェクトの円滑な進捗を図るため、プロジェクトの調整・管理を中心に事業全体の取りまとめを行った。また、研究成果の評価業務として、有識者からなる評価委員会を開催するとともに、成果としての各調査研究プロジェクトの報告書等の印刷・配布等を行い、さらに、成果を普及するための講演会、報告会等を開催した。

※「機械情報産業講演会（水戸市/平成 22 年 12 月 9 日開催）」



※「機械情報産業研究報告会（東京/平成 23 年 4 月 27 日開催）」



⑦図書館機能の多様化に向けての情報システム整備

web 上で公開している図書所蔵資料の書誌データベースは導入から 3 年以上経過し、インターネット利用が日常のものとなっている現在を反映し、データベース利用による所蔵資料の照会も増えている。そこでシステム完成より一定の年月を経過したことも考慮し、機能の向上を図り、より一層の利便性を高めるため、修正と機能の付加を行った。インターネットを含め電子情報が図書館においても重要な位置を占めつつあるが、実際にはインターネットで利用できる資料にはまだまだ限りがあり、機械工業図書館ではそうした資料の収集にも務めている。

これまで団体等の発行する報告書をコレクションしてきたが、今年度は製造科学技術センターより、報告書の寄贈が約 300 冊の寄贈があった。なお、機械工業図書館は平成 23 年 1 月より改装のため閉館した。1 月 20 日より機械振興会館内 1 階にサテライト図書室を設け、新着雑誌等を閲覧に供した。サテライト図書室は 4 月末まで開館している予定であったが、東日本大震災の影響により、3 月中旬をもって閉鎖した。 [機械工業図書館（2011 年 4 月より「B I C ライブラリ」へ名称変更）](#)

2 予想される事業実施効果

本年度は、我が国機械情報産業の「産業構造の大変革期に対応した日本のモノづくりの発展戦略」に焦点をあて、幅広い観点から機械産業の現状、課題、施策等を調査し、その成果を取りまとめた各報告書及び他の資料等は、機械業界、関連業界などに対する有用な経営等の基礎資料として活用されている。また、これらの成果は、今後の研究内容の向上と時宜に応じたテーマを設定するために評価委員会で内容等を審議し、成果の評価を行った。

さらに、調査研究成果を直接一般に公表する「[機械情報産業講演会（水戸市/平成 22 年 12 月 9 日開催）](#)」及び「[機械情報産業研究報告会（東京/平成 23 年 4 月 27 日開催）](#)」では、研究成果をベースとして、最近の経済・社会情勢や地域開発と企業経営問題を報告したことから、多数の参加者を得、それぞれ活発な質疑がなされた。調査研究成果を含む研究所全体の事業成果は業界発展に有用な情報として[ホームページ](#)で公表するなど、様々な形態で広範囲に成果の普及を行い、今後、その活用が期待できる。

3 本事業により作成した印刷物等



[「産業セクター融合の時代における新事業展開 ― 地域製造業が存続するための要件」](#)



[「2030年の機械産業の姿 ― これまでの20年・これからの20年」](#)



[「将来のモノづくり人材の育成・獲得に向けた地域及び企業の取り組み」](#)



[「子ども向け ものづくり教室、理科教室のすすめ」](#)



「日本の自動車産業・部品産業の構造変化と競争力強化策」

— インド・タイ等の新興国低価格車市場から考える日本企業の競争力」



「日韓機械関連統計における産業／品目バーチャル・ブリッジ分類の構築」



「海外産業技術者の受入研修事業に関する調査研究」



「携帯電話の高機能化と高度利用による国際競争力強化策」



「中国機械産業の発展と欧州等の中国に対する安全保障貿易管理の実態」



「機械産業の国際競争力強化と外形標準課税のあり方に関する調査研究」



「新しい調達システムによるモノづくり競争力基盤の再構築

— わが国における潜在的技術優位の活用を目指して」



「新興国及び先進国における次世代自動車(含二輪)の供給基盤の比較分析」



「エンジニアリング産業海外拠点人材育成に関する調査研究」



「ものづくり分野における日本の競争力強化技術開発調査」



「エネルギー貧困地域でこそ生きるスマートグリッドとエコデバイス

— Silly Grid ? : オフライン積上式電力生態系」



「世界規模で拡大する風力発電市場と日本企業の競争優位性」



[「風力発電関連機器産業に関する調査研究」](#)



[「京都議定書後の我が国 CO₂削減プラント産業技術の途上国移転に係る調査研究」](#)



[「国内モノづくり中小企業における海外市場参入戦略」](#)

[— 日本、韓国、シンガポールのモノづくり中小企業の比較から —](#)



[「航空機及び同部品産業の市場・技術動向と中小企業の参入可能性に関する調査研究」](#)



[「機械経済研究 No.42」](#)



[「Engineering Industries of Japan No. 45 \(英文機関誌\)」](#)

「平成 22 年度 機械工業経済研究報告書要約集」
「調査研究評価委員会資料（平成 22 年度）」
「講演会テキスト・パンフレット（茨城県水戸市）」
「報告会テキスト・パンフレット（東京都港区）」

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般財団法人 機械振興協会 経済研究所
 （キカイシンコウキョウカイ ケイザイケンキュウシヨ）
住 所： 105-0011
 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 6 号
代 表 者： 会長 庄山 悦彦（ショウヤマ エツヒコ）
担当部署： 企画管理室
担当者名： 企画管理担当室長 宮本 光一郎（ミヤモト コウイチロウ）
 企画管理室 吉村 泰子（ヨシムラ ヤスコ）
電話番号： 03-3434-8251
FAX 番号： 03-3434-3696
E-mail： yosimura@eri.jspmi.or.jp
URL： <http://www.jspmi.or.jp>